

一般質問

魅力あるベイエリア 新たなにぎわいを

その他の質問 ○都市計画公園の見直し 京西 且哲 議員

【問】本市では、岸和田駅・旧港・城を結ぶエリアをトライアングルゾーンと位置づけ、中心市街地の活性化を図っている。その一翼を担う旧港再開発地区に、平成9年3月、岸和田カンカンベイサイドモールがオープンし、その後、スポーツドームや浪切ホールが建設された。

【答】しかし、平成15年の結婚式場オープン以降、新たな展開もなく、スポーツドームも撤退し、その空き地と隣接の緑地を合わせた3・3ヘクタールの府有地は10年近く放置されている。業務・宿泊施設用地で、駐車場として仮使用している

一般質問

整備進む丘陵地区

住みやすいエリアに

池内 矢一 議員

【問】新たな市街地として整備が進められている丘陵地区整備事業の内容について聞きたい。

【答】都市・農・自然が融合した良好なまちづくりに際し、道路や公園などの公施設整備や、企業を誘致するための用地整備、良好な住環境を築くための宅地整備を行っていく。

【問】丘陵地区につながる幹線道路の交通事故対策や、歩行者などの安全対策について聞きたい。

【問】本市では、岸和田駅・旧港・城を結ぶエリアをトライアングルゾーンと位置づけ、中心市街地の活性化を図っている。その一翼を担う旧港再開発地区に、平成9年3月、岸和田カンカンベイサイドモールがオープンし、その後、スポーツドームや浪切ホールが建設された。

【答】府が所有する空き地については、港湾局に積極的な活用を要望していく。同時に、旧港地区全体のまちづくりとして、海と直結したウォーターフロントという環境の強みを生かし、浪切ホールを拠点に、にぎわいと潤いのある空間を形成していきたい。

【問】事業区内の主要な交通差点到、信号機や照明を設置するほか、岸和田中央線の沿道についても、道路管理者である府と協議し、必要な箇所に照明が設置できるように努める。

【問】大規模な災害により負傷し、避難所に避難された人への応急対策について聞きたい。

【答】市民病院の医師や看護師で編成された救護班が、負傷者や医療機関の状況を把握し、初期医療活動を行う。しかし、入院患者への対応などで救護班の編成に支障をきたす場合は、日本赤十字社や岸和田市医師会などに派遣を依頼する。

一般質問

一貫した支援で

不安の解消を

南 加代子 議員

【問】フィンランドでは、「ネウボラ」という出産育児相談所がある。これは、各専門職が協働して必要に応じたサポートができるワンストップ窓口である。

【答】妊娠・出産・子育てにわたり切れ目のない支援をしていくことにより、母子の孤立を防ぐ体制ができ、産後うつなどによる児童虐待の早期発見・予防もできると考えるが、本市の体制について聞きたい。

一般質問

地域の足となる

コミュニティバスを

井舎 英生 議員

【問】毎日の買い物や通学、通勤、通院などに利用しやすい地域バスが求められている。

【答】市民生活を支える交通インフラを整備する必要があり、新たに地域コミュニティバスを運行すべきと考えるがどうか。

【問】近年の学力テストの結果によれば、本市の学力

【問】産後のケア事業として、他市では、育児支援ヘルパー事業や宿泊型のサービスマンなどを実施しているが、本市ではどう考えているか。

【答】育児支援ヘルパー事業を実施する場合、新たな人員の配置や実施する部署など課題がある。また、宿泊型サービスマンを実施する場合も、設備の問題や人員の問題、民間病院との連携など課題がある。先進事例を十分検証し、検討したい。

【問】授業で生徒が基礎・基本を身につけ、その知識や技能を活用する力を育む必要がある。教員の指導力向上や校内研究の推進に努める。また、学力向上の成果があった事例の共有や、自学自習力育成のための事業を引き続き実施する。

【問】公共交通政策については、今年度からスタートする第2期戦略計画で、最優先にめざす成果として位置付けている。「岸和田市交通まちづくりアクションプラン」を策定し、積極的かつ着実に展開したい。

一般質問

市の節目を機に

さらなる飛躍を

反甫 旭 議員

【問】本市は、大正11年11月1日に市制が施行され、平成34年には100周年を迎える。府内で3番目、全国的に見ても早く、他市からも参考となる記念事業をめぐすべきと考える。

【問】現在のところ、100周年事業に向けての具体的な検討は行っていない。しかし、非常に大きな節目の年となるため、しかるべき時期には、岸和田市の百寿にふさわしい周年事業の実施に向け、種々検討を行っていききたい。

一般質問

中核市への移行

余念のない準備を

井上 博 議員

【問】財政状況が厳しい折、市長は平成30年4月に中核市へ移行すると府に申し入れを行ったが、そのメリット及びデメリットについてどのように考えているか。

【答】中核市移行のメリットは、市民自治都市の実現、行政サービスの向上、都市のイメージアップであり、デメリットは、新たな事務に対応するための組織・人員などの整備、財源確保である。感染症などへの対策は、さまざまな課題と合わせ、十分検討していきたい。

【問】本市の財政再建のため、行政の広域化、民営化、民間委託などの構造改革を進めるべきではないのか。

【問】これまで市制施行以来、10年ごとに記念事業を行っているが、これまでの総括とそこから見えてくる課題を把握しているのか聞きたい。

【答】事業内容や取り組みの方向性に一定の違いはあったが、市民に本市の魅力を再認識してもらい、岸和田への愛着と誇りを持ってもらう機会になったと考えている。

【答】行財政新改革プランに示す公共施設の適正配置や企業誘致などが構造改革の柱であるが、民間活力の導入や広域連携の充実についても引き続き検討したい。

【問】既に近隣市で行っているバスポート発給業務は、本市の事務能力を考えれば市民サービスとしてただちに実施すべきではないか。